





天智天皇



秋乃田代の海
乃台城の見ゆ
しあもあちあち
あまの

持統天皇

まことなる

まことなる

あまの

あまの

あまの

あまの

掃平人磨

足成り山道

多のーふちの

なぐー成

うーちかも秘ん

山道赤人

田子海

うら

市

のたな

名

白海

猿丸堂

おく山一 ぶ葉

分がく

いふま

秋

中納言

かき

とけ橋

おの

おは

おは

お信仲磨

三原あや

うけなれ

かきつる

みづらひ

ふし月

喜捨法師

我が身をたす

行

あはれ

あはれ

あはれ

小燈小町

花のよきうらぶきり

いふ

あはれ

あはれ

輝丸

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

光孝天皇

つたつた光孝天皇

の御子

光孝天皇

播磨の宮

多岐の宮

ありけり

中納言の平

そら

うら

今

山の

おの

今

中納言の平

らげやあれ

神代も

す新田川

うら

あ

あ

藤原の御子

まみの御子

あやゆきの

あやゆきの

あやゆきの

信濃秘波

かみ

きり

あし

うで

久良親王

体

新

あし

桑原

和

清

あ

う

縮正遍照

う

あ

う

あ

う

あ

湯成院

筑波祢のこねり
おつれみりれり
らりりりりりりりり
りりりりりりりりり

河原おとけ

からのれりりりりり
らりりりりりりりり
りりりりりりりりり
りりりりりりりりり
りりりりりりりりり

宗村は

今こりりりりり

あひの

あひの

あひの

あひの

あひの

あひの

あひの

あひの

文彦康秀

大正三年

月夜のゆく地

うかす

わす

ゆきの

秋

あふ

菅束

よのひ

あふ

あふ

あふ

あふ

三束

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

中納言為持

見え

海

と

ま

わ

海

と

源宗子胡片

山をきかす

ま

ま

凡何能極

と

の

ま

ま

ま

ま

毛

ま

ま

わ

ま

曉

切

の

ま

の

ま

はさしき 坂と

よ 物 則

好の 月 みる

小 室

台

雲道列樹山川は芳乃

を みる みる

か ぬ も ち ら ぬ も ち ら

か げ ち 郵 町

光さし乃光

の ち ち

美代目ふさ

ち ち

ち 花の

ち ち

紀友則

葉

真風

け ち

志 乃 ち

ち 妙の

松 ち

ち ち

る

あふ

の

の

人

紀

の

の

年

の

の

文

の

風

の

の

近

の

の

の

の

の

の

の

浅草はなみのりし京

あのかげもくもく

人のり とき 春浅草

平島盛

志のまじり

あふり
あふり

いのおもひ人の

人あれ

あは
あは
あは
あは

土さ

あふり

あふり

あふり

浅

あふり

あふり

あふり

あふり

あふり

あふり

指本納之録

きりく

うねの

うね

く

う

地

本納之録

あまの

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

あまのこ

空海

舟のこ

くさみそ

秋をよ

風をよ

雲をよ

のこ

源

物と

守之

あり

ん

火のこ

き

本

君

のこ

な

義

思

ら

かゝるに

かゝるに

かゝるに

かゝるに

藤原道信

胡片

かゝるに

かゝるに

かゝるに

かゝるに

かゝるに

かゝるに

かゝるに

かゝるに

かゝるに

かゝるに

儀同司母

かゝるに

かゝるに

かゝるに

かゝるに

大納言任漸乃をよき
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

た尋と久しきな事
た尋と久しきな事

かゝるに^レは^レなる

の^レは^レなる

の^レは^レなる

見^レ一^レ部^レ未^レ達^レ也

た^レら^レく

か^レら^レの

こ^レも^レた^レり^レし^レ小^レ武^レ部^レ内^レ也

か^レら^レの

の^レは^レなる

係^レ勢^レ大^レ端

い^レし^レ魚^レの

か^レら^レの

の^レは^レなる

か^レら^レの

か^レら^レの

か^レら^レの

清^レ少^レ綱^レ云

か^レら^レの

か^レら^レの

た^レら^レの

か^レら^レの

今

〜

〜

あ

〜

〜

〜

乃

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

相授

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

おふれこつ回乃
瑞葉をうれく

わのまろや秋

う分ちく大酒意候

音ふさく

そく乃漢州遊ハ

猪子肉親王遊紀傳

うちや

袖のふかふか

指酒を直奉

うちや

う紗の尾上此さく

うちや

和山乃翁

源佐頼朝伝

うちや

うちや

うちや

山下風よ

うちや

うちや

うちや

うちや

あまれ〜村

おのゝ村

藤原志後

紫を〜

あまのら

清持入道前用白

あまのら

あまのら

清出

あまのら

志

あまのら

あまのら

波

あまのら

瀬

あまのら

あまのら

あまのら

源兼昌

幾

法西島

寝夏

通布

奴

千鳥

農

酒磨

鳴聲

年

之

守

さく 乃 乃 乃

その西の月の

の 船

おき 乃 の

影 乃

秋風 乃 た

侍 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃

乃 乃 乃

乃 乃 乃

乃 乃 乃

乃 乃 乃

乃 乃 乃

色面 ^れ 露 ^も 雲 ^ひ ぬ

雨 ^の 葉 ^よ

身 ^こ ら ^の 影

秋 ^の も ^た れ ^舞 蓮

帰

秋波 ^の 影

雨 ^れ

嘉

皇

秋 ^の

雲 ^の

雨 ^の

身 ^の 影

別

雨

院

武 ^の 月 ^の 鏡

武 ^の 乃 ^の 花 ^の

花 ^の

花 ^の 影 ^の 影

花 ^の 影 ^の 影

花 ^の

花

殿 ^の 門 ^の 院

花 ^の

小 ^の 鳥 ^の

花 ^の

花 ^の

花 ^の

花 ^の

花 ^の

花 ^の

後藤捕鯨船

三つすゝ

濃

ろく

衣

手

お神志

みぬ

沖れ

人

二重

際

せ中

身

頑念

あ

よ

右

つ

お

三

少

大

や

こ

く

り

金

おらあ
うら

わら
わら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

入道前夜

うら

花よりあ

うら

指中酒を豆加

うら

お人といふかのあ

おとあ

焼やうら乃が

うら

うら

うら

浪二位お

風やうら

蘇州大學女子大學短期大學部圖書館

ISBN 394311368



1001931268

蘇州大學女子大學短期大學部圖書館
藏書
蘇州大學女子大學短期大學部圖書館
藏書
蘇州大學女子大學短期大學部圖書館
藏書
蘇州大學女子大學短期大學部圖書館
藏書
蘇州大學女子大學短期大學部圖書館
藏書

